

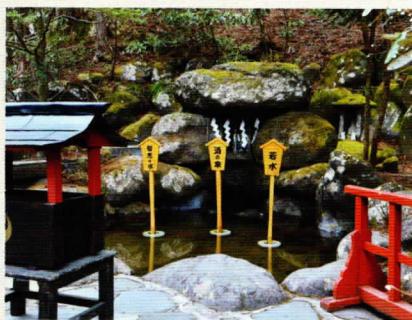
「にっこうふたらさんじんじや」

日光二荒山神社

開運・縁結び・安産にご利益がある神仏習合の中心

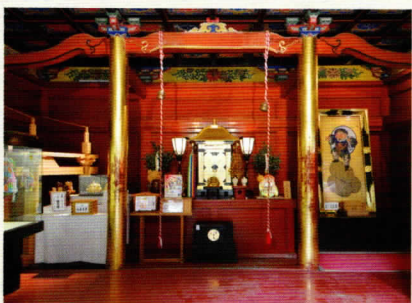


▲ 黒漆塗りの屋根、弁柄漆塗りの柱、錆金具などの修理を終えて輝きを放つ本殿



二荒霊泉 ふたられいせん

恒霊山から湧き出す「薬師の霊泉」と、滝尾神社から湧き出す「酒の泉」の2つの水脈を引き込んだ御霊水です。健康や若返りの泉とされ、ひしゃくを使って飲めるほか、持ち帰りもできます。



大国殿 だいくこくでん

全国でも珍しい、幸運の「招き大国」が祀られています。参拝者は「打出の小槌」を振って願いごとを祈願します。



ごしゅいん 御朱印

日光二荒山神社は、御本社のほか別宮や末社が複数あるため、御朱印の種類が豊富です。限定御朱印、特別御朱印などバリエーションに富んでいます。

御本社・滝尾神社・本宮神社を「日光三社」といい、ここは聖地日光の原点です。山内にある御本社の社殿はすべて重要文化財に指定され、1619（元和5）年創建の本殿は日光最古の建造物とされています。二代将軍・徳川秀忠公が造営した優美な八棟造は、2020（令和2）年秋に大規模修理が完了し、令和の世に色鮮やかによみがえりました。



縁結びの御神木

日光二荒山神社の「縁結び」と関係が深い、スギの木にナラの木が「宿り木」として生えている巨木です。「すぎ（き）なら一緒に」という願いが込められています。

聖地日光の表玄関を飾る朱塗りの橋・神橋は、日光二荒山神社の建造物です。国の重要文化財にも指定され1999（平成11）年には世界遺産にも登録されました。清流・大谷川に架かる木造の橋は、その建築様式の特徴から「日本三奇橋」の一つに数えられています。現在は年間を通して夕方9時までライトアップされています。

神橋 しんきょう

